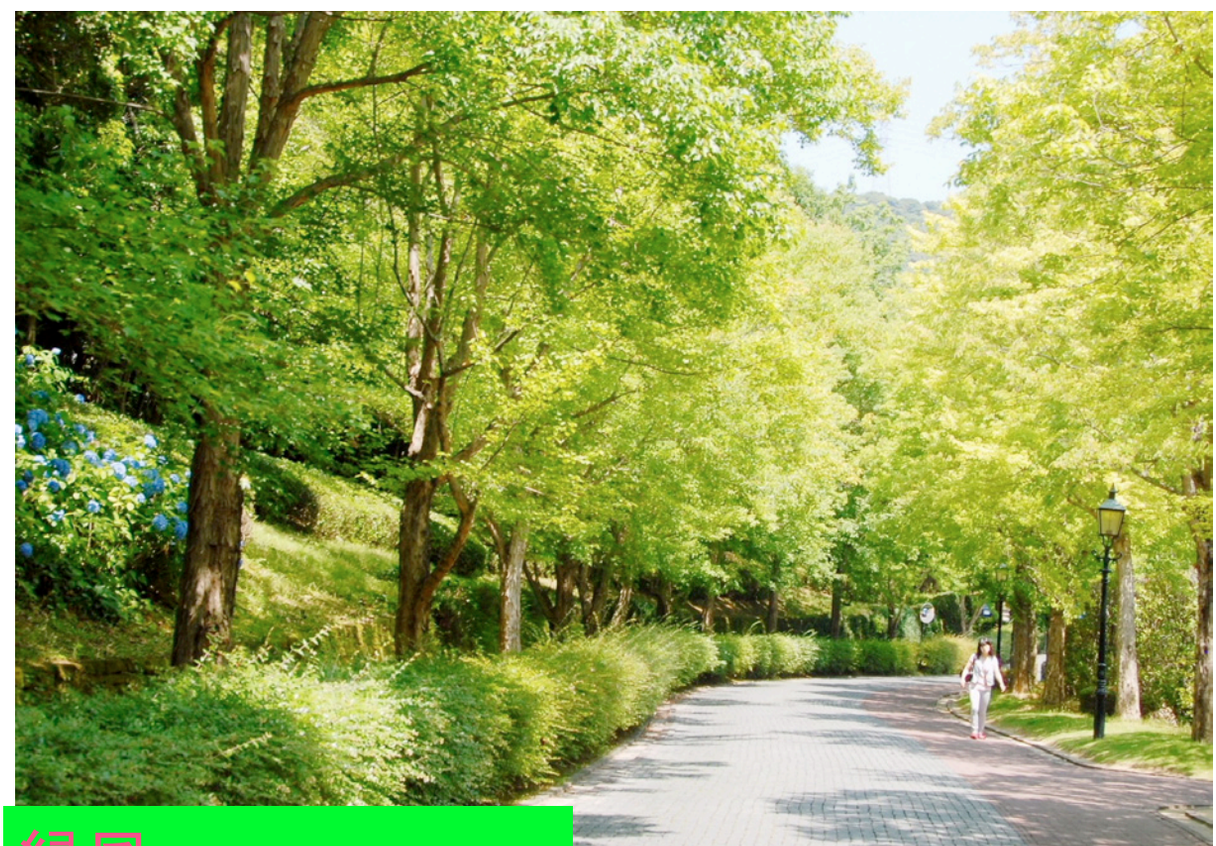
全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

http://www.shijuku.net

第39号(平成24年７月号)



緑風　―初夏の青葉を吹く風―

Photo by Joh Tadamichi

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局　仲野十和田
〒173-0005　東京都板橋区仲宿55-8-205　ナカジュク内
TEL:03-3963-5572　FAX:03-3963-2529
Mail:center-office@shijyuku.net

理 事 長　湯口　兼司
TEL03-5743-7458
広報部長　大住　明敬
TEL048-957-8608

理事長メッセージ

理事長　湯口 兼司（香川県 ・湯口塾）

理事長と事務局長ががっちりと握手し、私塾ネット新時代の幕開け。

４月２２日に開催された『私塾ネット設立１０周年記念大会』素晴らしかったですね。２００名を超える参加者が一つになった感さえいたしました。私塾ネットらしい和気あいあいとした雰囲気の中、第一部、懇親会、二次会ととても楽しい一日が流れていきました。鈴木前理事長が以前に語っておられた『私塾ネットの集まりは楽しい。それは中身があるから楽しいのです。塾人の抱えている問題はそれぞれ異なります。それを皆さんの提案と話し合いで企画が生まれ、みんなが協力して充実した研修会になっていくのです。』その言葉通りの研修会でした。確かに講演された上甲晃先生の素晴らしさが一番ではあるのですが、当日のアンケート集計では参加者の９８パーセントが『とても良かった。』後２パーセントが『まあ良かった』と答えて頂いたそうです。素晴らしい研修会だったことは参加して頂いたみなさんの笑顔からも窺えましたし、あちこちで懐かしい人々が楽しそうに談笑している姿からも推察できました。谷村実行委員長と鈴木副会長の集大成ですし、参加したみなさんや実行委員の先生方の活躍のお蔭ですね。様々な場面で細かい気配りを感じることが出来ました。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

私塾ネットは言うまでもなく全国規模の民間塾団体です。そして私たちの団体には塾を創めて10年くらいから50年を超えるクラスまで様々な学習塾で構成されています。規模においてもそうですし、指導している教科も対象学年も全く様々です。指導法、集団指導、個別指導、中学入試、FC系ではサテライン予備校など、本当に千差万別ですね。先生の数にしても塾長一人のところ、ご夫婦でされている塾から始まり500人を超える講師を抱えている塾まで、必要とする研修も異なるかも知れません。しかし私がこれまで私塾ネットの様々な研修会に参加して、お会いした先生はみなさん一生懸命でした。教科の違いとか自塾と直接関係がない分野でも懸命に学ぼうとしていました。研修会に参加して、お互いが切磋琢磨することも大切です。懸命に学び且つ仲間の元気そうな顔を見て安心する、ほっとした雰囲気になる、研修会がそんな場になったら良いと私は心から願っています。そしてそれは今年４月２２日の記念大会の雰囲気そのものなのです。

『私塾ネットのこれから』を念頭に置きながらここまで書いてきました。そして私塾ネットはやはり凄いなと再認識しました。それは規模の大小関係なく素晴らしい塾がたくさんこの会には集まっています。私塾ネット四国はここ数年広島若竹塾さん、神奈川のSTEPさん、今年の千葉誉田進学塾さんと立て続けに凄い塾で研修をさせて頂きました。どれも得難い経験でしたし、真の意味でこれからの学習塾を考えるのにとても良い勉強になりました。各エリアにはそれぞれ素晴らしい仲間の塾があり、凄い塾もたくさんあります。私たちの団体は凄いんです！何が言いたいかというと、『～方法のヒントが欲しい。』『新しい指導法を見たい。』『こんなことをしたいけど、如何すれば？』『生徒の募集は？』とか皆さんの塾で知りたいこと、勉強したいことがあれば、全国の仲間の塾を紹介できると思います。また勉強させてもらえそうな仲間、良いアドバイスを頂けそうな塾長をご紹介できると思います。仲間同士がそうした助け合いが出来る私塾ネットワークを創っていけたらと私は考えています。塾を長く続けていくということは大変なエネルギーと努力と細心の注意と、時には運も必要です。しぶとく粘りぬいてほしいものです。

私たちはあの日、東日本大震災を経験して二年目を迎えています。現在は谷村会長ご夫妻が中心になって『出前寺子屋in石巻』を支援活動の一環として計23回実施して頂きました。この活動については今後も引き続き応援、後援したいと考えています。しかし私塾ネットとしてお手伝いできることがまだまだあると考えます。これに関しては田中震災支援対策委員長とも相談しながら、皆さんに再びご協力を仰ぎたいと考えています。

最後に、私の至らないところは谷村会長、鈴木副会長、仲野事務局長の力をお借りし、より良い私塾ネットを目指して、何が必要か？どう応えれば良いか？を共に考えていきたいと思っています。

私、湯口兼司の比較的強いところは困ったときにアドバイス頂ける先輩、仲間、後輩達を周りにたくさん持っているところです。私の指導教科は英語だけ、四国香川県の西部、三豊市・観音寺市で塾を創めて35年になります。還暦を過ぎましたが、今でも週４日間、本部教室の中１～中３生と一部高校生の英語を担当しています。４０年間毎日３箱余り吸っていた煙草を昨年9月より休止、現在は里山歩き（標高500m未満）とウォーキングを趣味にしています。至らないところも多いとは存じますが、一生懸命挑戦します。ご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

授業力アップ研修会（千葉学習塾協同組合主催）から学んだこと
期日：６月２４日　会場：千葉市文化センター

司会進行はJAC前理事長の松浦重雅先生。

６月２４日、千葉市文化センターにて行われた千葉学習塾協同組合（ＪＡＣ）主催の授業力アップ研修会に参加させていただきました。約１００名の教務力の自己研鑽に熱心な先生達が一堂に会しての研修会は非常に活気がありました。普段自塾に閉じこもってなかなか外の空気に触れることが少なくなってしまいがちの塾講師という仕事で、これだけの志を同じくする人たちがいるということを直接肌で感じられるということは単純に嬉しく、また同時に身の引き締まる思いがしました。

我々渡辺塾は４名が模擬授業に出場させていただきました。出場者は精一杯準備して練習して作り上げた自らの授業を発表しました。授業後に審査員の先生方から授業の評価を直接伝えて頂くことができ、さらにそれ以外の見学者の先生方全員からの長所と改善点を記入した評価シートによってフィードバックを受けることができました。そのようにして数多くの貴重な客観的評価を頂くことができ、自分の授業に足りないものは何なのかということにしっかり向き合う事が出来ました。こうした自分に不足しているものに気づき、足りないからと言って逃げずに、きちんと向き合ってそれを改善する努力をすること、このことを繰り返すことのみが教務力を向上させる唯一の手段ではないかと強く感じます。

そのきっかけを与えてくれる今回の研修会は出場者にとって非常に有意義なものでした。また、見学者にとっても普段はあまり目にすることのできない他塾の先生方の授業を見ることができ、自身の授業に活かす事のできるアイディアや工夫などを数多く発見することができる絶好の機会となりました。他の先生の授業を客観的に評価しつつ見ることで同時に自分の授業を見つめなおし自分に足りないものは何なのかを意識するきっかけになり得難い経験ができました。最終的に教室ごとの評価の高かった先生に優秀賞が贈られ、賞状と楯が授与されました。さらに参加した全塾に対し、今回の研修を修了したことを示す修了証が進呈されました。

的確な講評で研修を締める佐久田副理事

日米文化学院の山際先生は数学に挑戦。

研修後の講演も非常に貴重なお話を聞かせて頂けました。Ａｐｏｌｌｏ　ｐｒｏｄｕｃｉｎｇ社、代表のブライヤー・ボウ氏を招いた講演では「授業運営について」(『授業の分析眼が、あなたとみんなの授業力を高める』)というテーマでお話を頂きました。自塾の定義する「授業力」のフレームを明確に作り、そのフレームをレベルごとにわけ、成長のステップをつくることで授業力の成長が望めるということを知りました。具体例やワーク（他己紹介）を交えて非常にわかりやすく興味深い内容にあっという間の１時間半でした。

今回の授業力アップ研修を通して、自塾の中にいては決して知ることのできない他塾の先生方の授業を間近で見ることができ、また自身の授業に対して貴重な客観的な意見を数多く頂くことが出来たことは本当に得難い経験となりました。今回の研修によって学んだことを自分の中に活かして日々の授業をよりよいものとし、生徒たちに少しでも還元できるようこれからも日々努力を重ねていきたいと思います。

（人間教育渡辺塾　講師　内川敦希）

会場を埋める100余名の受講生。熱気が伝わってくる。

エリア通信

エリア東北 代表　渡部 信雄
（青森県・尚志舎）

最期の会話

先日、私共青森県の塾人にとってかけがえのない、青森県全県テスト協会会長の新山陽悦先生が急逝されました。

塾ネットエリア東北代表の話が出た直後に、新山先生から電話で「先生何でもお手伝いしますよ」といつもの心温まるお話を受け、百万の味方を得た思いでした。「今度お会いしたときに詳しい話をしましょう」という会話がよもや最期の会話になるとは思いもよらないことでした。20年来何かにつけて、相談にのってもらい支え続けてもらいながら、自分は何のお手伝いもできないままのお別れになってしまいました。

続々と焼香に訪れる塾生や卒業生たち。決して優しいだけの先生ではなかったはずですが、己にはいつも最も厳しくされていた先生の人柄は生徒たちの心にずっと生きていくことでしょう。

青森県での塾の団体は(社)全国学習塾協会青森県支部が最初で、その後いくつかの団体が生まれました。その１つが現在の青森県学習塾協議会です。新山先生は長く事務局長を務められ、その後会長としてずっと会を支え発展させた最大の功労者でした。

また昨年からは県内１５０塾前後で組織している全県テスト協会の会長に就任されました。会の隅々まで気配りされ、実に見事な運営でした。副会長の１人は「新山先生の指名だったから引き受けた」というのもうなずける事でした。

最初に新山先生の塾舎を訪れることになった時は、詳細な手書きの地図を送って下さり何も迷うことなく行くことができました。また新山先生が協議会の会長をされていた時、協議会の研修会に急用が重なり、会長あいさつを私が代行することになり、どうしたものか迷っていると新山先生は多忙を極める中あいさつの原稿を送ってくださいました。万事がこの調子で、いつも相手を思いやり、自らの苦労を厭わない姿に常々感服したものです。

葬儀の後、新山先生の奥様より、「塾の先生方のお陰で立派な葬式で送ることができました。ありがとうございました」というお言葉をいただきました。今後何かあるごとに新山先生がいないことを思い知らされることでしょうが、先生の魂とともに一歩一歩着実に歩いていこうと思っています。

はじめまして、よろしくお願いします。

やまばと学習館　　佐々木　康

４月より、私塾ネット東北に加盟させて頂きました、やまばと学習館代表の佐々木と申します。この業界に入ってはまだまだ新人で、悩み多き年男です。

当館は青森市「浪岡」（旧浪岡町）にあり、人口1万6千人（６小学校、１中学校、１高校）という小さな地域で、小中高生の一斉・個別指導を行っており、今年で開業7年目になります。私自身は北海道出身で、結婚・開業とともに青森に移住し、現在3歳の息子の子育てに、怖い嫁の独裁の元に、そしてパワーあふれる子供たちとの毎日に奮闘しているしだいです。

開業当初は、津軽弁が分からなかったり、風土の違いにとまどったりと右往左往することもありましたが、今では近所のスーパーで保護者様と立ち話をしたり、町内の方と食事に行ったりと地元の方々との交流を通じて、少しずつ青森県民として慣れてきました。

その一方で、北海道にいる頃はスタッフだったのが、商売する代表としての責任の重さも感じています。しかし、この県に暮らす人たちの温かい心にも支えられ、特に私塾ネット東北の代表、渡部先生には開業して間もない頃から大変お世話いただき本当に感謝しております。塾経営の偉大な先輩として、また若い頃に父親を亡くした自分にとっては、青森の父のような存在として今後とも先生をはじめ皆様方にもさまざまな面でご指導を頂ければ幸いです。

最後に昨年からはマラソンを始め、渡部先生の的確な指導のもと、初マラソン挑戦でフルマラソン完走をすることができました。小さな頃から長続きしない、天気一つでさぼりがちな私だけに、大きな自信となったことは言うまでもありません。次回も渡部先生、また同じ東北エリアの扇野先生のご指導を頂きながら、タイムを少しでも縮めることが出来ればと思っております。

このように、公私ともども渡部先生にはお世話になりっぱなしの状況ですので、微力ながらお手伝いをさせていただければ、という思いもあります。また全国の塾長の皆様との交流を通じて、私自身も塾長としてレベルアップができればと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

エリア中部　代表　松本　紀行
（長野県・チャレンジ学院）

7月8日（日）湯けむりの会を予定しています。思えばかれこれ三十数年間になりましょうか。長野県内の温泉地や秘境の地を訪ねては仲間と懇親を深めたものです。気心の知れた仲間たちと地酒を酌み交わし、肝胆相照らす喜びをずっと体験させていただきました。良いものですね。皆さん、イノシシの隣で寝たことがありますか。露天風呂に寝そべって流星群を見たことがありますか。何十メートルもある洞窟風呂で遊んだことはありますか。長野県の仲間たちは好奇心が旺盛で、珍しいところにはどこにでも飛んでいくという習性を持っていましたので、話もすぐまとまったものです。

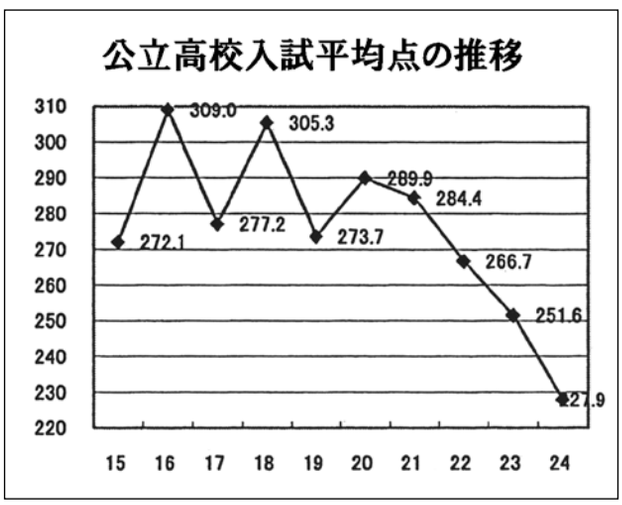
この会の効用は第一にどこでも寝られるようになること。第二に味わい深い庭園に巡り合えること。第三に極上の料理を食せること。原先生、三松先生をはじめ宴会部長の浅川先生、愛すべき高橋先生、北京大学で活躍する××（忘れました）先生、今全国学習塾協会で活躍している長田先生。その他多くの名物先生がおりました。全国からも幾多の先生がお見えになったことを記憶しております。ここ十年間は谷村会長、鈴木理事長、仲野事務局長達がいらっしゃいました。

実は6月中ごろ長野県統一テスト会の作問会議を行いました。その際、湯けむりの会の打ち合わせをしたばかりですので、今回はまだ場所が決まっておりません。お楽しみには準備の時間がかかるようです。只今、幹事の三松先生が最高の宿を探している最中です。

さて、今回は私塾ネットの会員で長野市にお住まいの開成学園代表、高橋信幸先生の取り組みをご紹介させていただきます。高橋先生とは長いお付き合いでして、かれこれ三十年以上になりましょうか。大変誠実なお人柄です。いろいろな会議の会場になるホテルや温泉地を紹介していただきました。

私ども開成学園は創立35年、親子2代で通塾されている方もいます。本年も当塾OB御子息も高専に合格しました。お陰さまで、高校受験で31年間全員合格を果たしておりまして、地域の皆様から感謝されております。通常授業はクラス授業と、個別指導を行っております。小学生から高校生まで指導しております。ちなみに中学生の授業料は一講座90分で11000円です。只今夏期講習を募集しております。8月4～11日迄の7日間（8月7日休み）。開成学園の特色は次の通りです。①キャリア10年以上の実力講師による情熱指導。　②塾生全員高校合格31回、11年連続全員合格中！　③トップクラスから基礎を学ぶ生徒まで在籍し、楽しく明るく真剣に勉強に取り組んでおります。　④塾生の学力向上と共に人間として成長するよう指導します。これからも宜しくお願い致します。

長野県においては今年の県立高校入試に於いて異変が起こりました。図でお分かりのように平均点が227.9点と一気に降下しました。1985年度以降最低の点です。数学に至っては平均が30点という有様でした。県教組や有識者達から「難しすぎる」と非難が上がっております。これは今年度から教科書が難化したことや、長野県で初めて中高一貫校が設立され、大変難しい問題が出されたことに呼応したものと考えられます。来年度の公立入試が大変気になるところです。



最後になりますが、私どもの塾の取り組みを大雑把にご紹介いたします。どこの塾さんも、運営していく上での方針や理念をお持ちと思いますが、私共も生徒を一人前にする理念がありまして、授業前2，3分で毎回発信することに力を入れております。社員、講師全員で、沢山ある理念の中から選んで伝えていきます。例えば「努力は必ず報われる」と言う理念は数多く発信されてきました。学校テストで一教科20点アップ、30点アップ、40点アップなどの目標を立て、実践し、その成果を競い合います。目標が達成されるとGM賞（図書カード500円）を与えます。教科ごとに与えますので、一人で図書カードを5枚、6枚と持っていくものが現れます。のべ1000名に与えますので、早い者勝ちです。昨年はのべ2009名が達成しております。GM賞通信で達成者を発表しますが、その中に「夢はかなうもの、かなえるもの」、「努力って楽しいね」等々の理念をドシドシ出すようにします。このようにチラシで伝えたり、父母会で伝えたり、学力向上カレンダー（只今制作中）等で徹底を図ります。「学ぶ姿勢をしっかりさせれば、成績が上がる」という当たり前のことを、当たり前にやることが必要なんだなあと、つくづく感じております。

締めくくりは次の理念を持ちまして終わらせていただきます。「当たり前のことを、当たり前やれば成功する。当たり前のことを“そこまでやるの？”と言われる位やれば、大いに成功する。」

エリア関東　代表代行　鈴木正之
（東京都・いぶき学院）

新横浜駅前のビルが並ぶ６車線の通り。車で数分走ると一気に視界が低くなる。さら先、小高い丘の上に病院がある。畑や林に囲まれたこの病院に、エリア関東新代表の長江勝秋先生が入院している。長江先生の奥さんから「今、手術をしています。」と電話があったのが３月１３日。祈ることしかできなかった夜が明けると、「手術は成功しました。」とメールが届いていた。脳内出血で倒れて２ヶ月が経ち、長江先生は今、復帰に向けてリハビリに励んでいる。

２月９日、私塾ネット湯口新理事長を支えるために、「長江先生を関東の代表に」と話が出た。我々の気持ちを伝え、なんとか引き受けていただけることになった。脳内出血で倒れたのは、私塾ネット臨時代表者会議（3/4）に向けて、私と２人で関東について話し合いを続けていた矢先の出来事だった。

その後、一般病棟に移った3月27日、私は谷村会長、仲野関東代表、渡辺関東総務部長と共に長江先生に面会した。私が想像していた以上に元気でしっかりしている。しかし、「関東代表については頼めない。」もちろん秋口まで、リハビリが続くと言うことを考えると無理と思っていた。ところが、その席で関東代表を「やる。」とおっしゃる。さらに「元気になって9月の懇親旅行に行く。」ことを約束した。戻ってから、諸先輩の先生方に相談すると、相談した先生全員から「やらせなさい。」と言われた。「リハビリの励みになる。」、「心の支えになる。」、「周りが助けてあげれば問題ない。」、「長江先生の復帰をいつまでも持とう。」とのお言葉。

ここで、長江先生からのメッセージです。「こんなことになってしまいましたが、現在リハビリに励んで、１日でも早い復帰を目指しています。皆さんに迷惑をかけていますが、必ず復帰して、皆さんと一緒にエリア関東を良くしていきたいと思っています。その際は関東の会員全員が参加していただけるような、役に立つ、楽しい活動を企画していきたいと思います。」長江先生は、何でも報告してくれとおっしゃっています。それは、「自分は動けないので、その分ここで色々考えたいんだ。少しでもみんなの役に立ちたいんだ。」とも言っていました。会員の皆さん、ご理解とご協力お願いします。

直子先生の育児日誌

エリア関東広報部長　髙橋直子
（千葉県・津田沼学院）

2012年4月26日　3230gの男の子を出産。逆子だったため帝王切開。産声を聞いた時は感動の涙…。回復が早く看護師さん達に驚かれる。

5月3日　退院、実家へ。いよいよ赤ちゃんとの生活がスタート。
病院にいた頃は泣くことの少なかった子が段々とよく泣くようになり、戸惑う日が増える。ちょっとしたことで涙もろくなり産後鬱。

23日　自宅へ。

24日～　旦那さんが帰ってくるまで赤ちゃんと二人きり。家事どころか自分の食事さえも十分に時間が取れないことに負担を感じる。赤ちゃんはかわいいが精神的に疲れる日が続く。子供が生まれる前は旦那さんが飲み会といえば喜んで送り出していたが、生まれてからは1分でも早く帰ってきて子供を見て欲しくなる。

25日　1か月健診。母子ともに順調。

6月4日　仕事復帰。

＊＊＊＊＊
1か月を過ぎると夜もまとめて寝てくれるようになり、赤ちゃんとの生活にも慣れ始めるので余裕が出てくる。仕事をすることで育児以外のことに気持ちが向くのも精神的に良い。
気がかりなのはテスト対策や夏期講習をどうやっていくかということ。時間の調整が難しい…。

エリア近畿　代表　杉山　信良
（大阪府・栄光塾）

大阪府学習塾子供の安全協議会

１０周年の際に、エリア代表の挨拶の時にも話しましたが、エリア近畿は、関西塾団体連絡会に加盟しています。６月２２日（金）に連絡会の活動の一つである、大阪府学習塾子供の安全協議会の総会がありました。通称「塾安協」は「子どもたちが事故に遭うのは、学校の放課後、特に夕方の時間帯が圧倒的に多い」という統計に基づき、学習塾との連携をとって、子ども達を事故や犯罪から守りたいという主旨のもと、大阪府警の肝煎りで、五年前から始められた会です。

今年度の総会は、大阪府警の担当者より、「通塾時の声掛け等事案（強制わいせつ）」の事例報告がありました。自塾の生徒が同じような被害に遭わないよう、通塾の際には複数のお友だちと一緒に来るや保護者の送り迎えの徹底という事の必要性を強く感じました。

塾の側からも、通塾時の安全基準作りを遂行する事と「見守り隊」との連携をはかる。という提案がなされ、モデルケースとして、政令指定都市である堺市で「塾安協」が音頭を取って、地域の学習塾と小・中学校と警察が協力体制を取るプロジェクトを今月より始めた事を報告しました。

堺市での取り組みが上手く行けば、当然、大阪府全体に活動が広まっていく事と思います。そうなると、益々「塾安協」の存在意義が増してくるでしょう。大阪で学習塾を営んでいらっしゃる先生は、ただ今、私塾ネットに入会いただくと、自動的に「塾安協」に登録され、もれなく「防犯」の腕章（暗闇でも緑色に光る！）と「子ども１１０番の家」のステッカーを差し上げます。

この記事をお読みになられた方で、「大阪で非会員の塾の先生を知っている。」という方がいらっしゃいましたら、エリア近畿代表の杉山までご連絡ください。お会いして、お話するだけでも、その先生にとっても有益だと思います。

さて、そろそろエリア近畿でも、入会キャンペーンを兼ねたセミナーをやろうかと画策しております。

詳細は、次回のエリア便りで報告します。

エリア四国　近藤　誠介
（徳島県・文化の森スクール）

徳島県の教育状況

先般、寺嶋先生が香川県の教育状況を憂えるレポートを書いておられましたが、わが徳島からみると実はうらやましい限りなのです。本年度センター試験において、代ゼミセンターリサーチによると県別平均が全国44位(5教科7科目)、河合塾では、なんと46位(5教科6科目)なのです。ちなみに、香川は両方とも19位です。900点満点で、徳島と40点以上の差になります。（一位の神奈川と徳島の差は110点です。）寺嶋先生のレポートは、こちらからするとうらやましい限りなのです。旧帝＋2合格者数は、徳島県全体でおよそ70名、香川のおよそ半分にしかすぎません。東大京大合格者数、徳島22、香川50、愛媛57、高知27です。ついでに、センター順位は、高知18位、愛媛25位(代ゼミセンターリサーチ)で、四国の中でも、他の三県に大きく後れを取っています。別のデータで、東大、京大、早慶合格者数ランキング46位というのもあり、大学進学における教育環境は、全国最低レベルと言わざるをえません。

何故、こういう状態になってしまったのでしょうか。徳島は、30年以上総合選抜制という高校入試制度が続きました。入試の成績上位者から、各高校に均等に配分していくというもので、高校間の格差をなくしました。徳島は文科省の言うことに従順な、模範的な教育正常県です。各県が、小学区制になって行ったあの時代です。全国でその制度がどんどん見直されてゆく中で、一番最後まで残っていました。徳島にとって、もう一つ不幸だったのは、私立があまり育たなかったことです。私立は実質２校で、そのうち進学校と呼べるものは一校です。普通こういう状況であれば、ダントツの私立ができてもおかしくないのですが、残念ながらそうならず今に至っています。総合選抜制度は、７，８年前に廃止されましたが、各学校間の差は、そんなについていないのが現状です。トップ校、二番手、三番手校という言葉はここには存在しません。ましてや、難関高校などという言葉は。高校入試も、１．０２倍とか１．０１などで総合選抜時代と何ら変わり映えしません。実に楽な高校入試で、そのことが生徒にとって幸せなのか不幸なのか。三年後、その感覚で大学入試に臨むのですから。

教育は、国の根幹です。人材の育成ができないこのような県に、どのような将来があるといえましょう。もちろん、難関大学に合格させることだけが教育ではないことは、百も承知です。しかし、本来ならば伸びるべき生徒を、生ぬるい環境のせいで伸ばせないのはその子にとっても、周りにとっても大きな損失です。ところが、こういう危機的状況にもかかわらず、県の教育委員会も高校もまるで危機感がありません。県内だけで比べて、うちが一番良かったとか、まるで全国レベルの話は目に入らないようです。子供たちにとってこの不幸な状況を少しでもどうにかしたいのですが。ところで、高校の通塾率は全国で３位らしいです！！！塾も一体？

私塾ネット出前寺子屋 in 石巻　レポート

平成２３年８月１６日に始まった、震災復興学習支援活動「私塾ネット出前寺子屋 in 石巻」は、２４年６月１７日の活動をもってひと区切りをつけることになりました。この１年弱の期間に２３回の現地活動（スクーリング）を実施し、漢検受検では５８名受検中５２名合格という成果を残すことが出来ました。また指導スタッフとして参加した私塾ネット関係者は（塾長、職員と家族）延べ８０名を超えています。被災者の皆さんを対象とした震災復興のための家庭学習支援。私塾ネット会員に支援活動の場の提供。という両面の活動目標がそれなりに達成できたものと判断し、第２期生の検定受検終了をもってひと区切りとする次第です。

震災後１年４ヶ月の時を経て、現地から離れた位置にいると、被災地と被災者の辛苦も記憶のらち外に置かれがちです。しかしながら、３年間とされる仮設住宅での生活を含め、復興の見通しがつくにはまだ相当な時間を要するものと思われます。

支援活動は、求められているかぎり、いかに継続することができるかが重要です。したがって、今後も第３期目の活動を継続するのですが、私塾ネットはこの活動を後援事業として位置付けます。そしてその運営はこれまで通りＡＩＭ学習セミナー（千葉県松戸市）の谷村志厚、和枝夫妻の責任のもとで継続されることになります。今後とも会員の皆さんのご理解とご支援をお願いします。　（谷村志厚）

私塾ネット出前寺子屋　第1･2期活動報告

１.期間：第１期　２０１１年８月１６日～２０１２年２月４日
　　第２期　２０１２年２月１９日～２０１２年６月１７日
２.会場　宮城県石巻市開成１番地
　　仮設開成第１１団地北集会所および仮設開成ささえあい拠点センター
３.受講生　登録講習生４８名（学生１９名、一般２９名）
４.スクーリング活動
　　第１回２０１１年８月１６日～第２３回２０１２年６月１７日
５.検定と受検者
　　漢字検定　平成２３年度第２回　２３年１１月５日
　　受検者１８名　合格者１７名
　　平成２３年度第３回　２４年２月４日
　　受検者２４名　合格者２３名
　　平成２４年度第１回　２４年６月２日
　　受検者１６名　合格者１２名
　　合計　受検者５８名　合格者５２名　合格率89.6%
　　合格者の内訳
　　２級１３名、準２級１４名、３級１２名、４級４名、
　　５級４名、６級３名、７級２名
　　英語検定　平成２３年度第１回　２４年６月９日
　　受検者１名　合格者１名（準２級）
６.会計報告

支出の部（円）		収入の部（円）	
直接費（検定費・教材費）	２４９，６２０	私塾ネット会計	６０，０００
間接費（県内移動交通費、通信費、会議費、材料費）	２１２，９８６	有志支援金 16塾１私学１団体 ＡＩＭ負担分	３２１，４３８ ８１，１６８
総計	４６２，６０６		４６２，６０６

＊11月以降の活動について経費を計上しています。それ以前の費用はAIM負担です。
＊会計の明細および支援者リストは公開しています。資料ご請求ください。

谷村会長もここではたんなるスタッフの一人。

仮設暮らしには花が嬉しいとはおじさんの弁。

全員そろってのオープニングセレモニー

英検5級講座風景

石巻 出前寺子屋　「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期　2011年8月16日～2012年2月4日
第Ⅱ期　2012年2月19日～6月17日
第Ⅲ期　2012年6月16日～11月10日

①スクーリング（漢検・英検学習）
2011年8月16日、9月4日、18日、１０月2日、16日、１１月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、１９日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日（以上終了および会場確定済）
②会場　仮設開成ささえあい拠点センター集会所
③検定受検（第Ⅲ期）
平成24年度第２回英語2012年10月13日
平成24年度第２回漢字2012年11月10日
④受講対象者　仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民
⑤受講者特典　教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

若竹塾の佐藤先生は広島県から馳せ参じた。

東北大村山准教授から合格書の授与。

大好評のフラワーアレンジメントに笑顔があふれる。

仮設団地の掲示版に貼り出した第３期生募集の告知チラシ

エリア中国　広報部長　西本　雅明
（広島県・パワーゼミ西本塾）

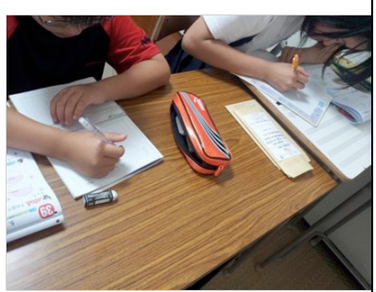
7月の定例会は年に一度の福山地区開催です。今年は「校長先生を知ろう！」というタイトルで、福山市内にある5つの私学の校長先生にご出席いただいて、そのお人柄やお考え方を通して、それぞれの学校を知ろうという企画です。質問に対しアドリブでフリップに答えを書いていただき、その答えに対し、さらに深く掘り下げていければおもしろいかなぁと考えています。逆に校長先生からもご質問を頂き我々への理解も深めて頂ければと思います。ですから2時間の枠ですが、質問は３つか4つに絞り込む予定です。また、地元情報誌の記者に同行取材していただき、記事にしてもらいます。参加して下さる私学の先生方に喜んでもらえるような大きな記事になるように、内容を吟味して臨みたいと思います。このイベントの様子は次回ご報告できるはずですので、失敗しないように頑張ります。

広島県東部地区は公立高校が強く私学が苦戦しているのが現状です。中学入試でも広島大学附属福山中学、福山市立福山中学（公立中高一貫校）などの国公立に受験生が偏り私学は大げさに言うとボーダーフリー化しています。その中で各校とも生徒募集に全力で取り組んでいます。まさに塾と同じです。生徒の成績を上げるための工夫、学力の高い生徒に選んでもらう工夫、教員の質を上げるための工夫など、私学には学習塾にも通じるアイデアがたくさんあります。今回は私学から何かを学びたいと思います。

さて毎回他団体の行事で恐縮ですが、私塾ネットと重なる会員も多く、また多くの任意団体からの応援も頂きながら準備中の、今秋行われる（社）全国学習塾協会主催「塾の日シンポジウム広島2012」は、中国四国の学習塾仲間達の協力のもと少しずつですが形になりつつあります。10月8日は冷や汗をかきながらも、全国から教育に携わる同道の仲間達を広島へお迎えできる喜びを、実行委員のメンバー達と共有できるように、しっかりと準備したいと思います。前日の10月7日には歓迎企画として「宮島歴史散歩」（河濱先生のコーディネート）も準備が着々の様です。ぜひ皆様、今秋は広島へご参集ください。

ご指導のほどよろしくお願いしいます。
代表　佐藤　操
（東広島市・ パーフェクトゼミ）

今年度より入会させていただきました，パーフェクトゼミの佐藤です。２００２年の開塾以来，今年で１１年目に入りましたがまだまだ諸先生方の足元にも及びません。どうか，ご指導のほどよろしくお願い申し上げる次第でございます。



当塾は自宅教室で住宅地の中にございます。夕方は同じ団地の中の生徒が学校帰りに寄り，また家に帰って塾の支度をしてから来塾する小学生に毎日癒されております。また，大きくなっていつの間にか身長を越される度に時の流れを感じるとともに，生徒たちの成長を目の当たりにできる嬉しさも実感しております。
正直，十年も続けるとは思っていませんでしたが毎日がめまぐるしく，あっという間の十年。気分を新たにして精一杯日々の指導にあたりたいと考えております。未熟者ですがどうぞよろしくお願い申し上げます。

エリア九州　代表　林　芳子
（宮崎県・Hayashi塾）

宮崎県庁から車で30分ばかり南へ走った所、宮崎大学医学部の近くに、私の塾があります。一昨年、宮崎市に合併されましたが、それまでは、人口2万人あまりの小さな町でした。静岡の塾を閉じてこちらに引っ越し、少し落ち着いた頃に、

「ここで学習塾を開きたい。」と、考え始め、周りの人に相談をすると、

「ここでは無理だよ。人は少ないし、学校で

背景はフランスの景勝地モンサンミッシェル。宮崎日南海岸ではございません。2011年12月撮影。

は、夏や冬の休みには補習授業をやっているから、（塾なんて必要とされないよ）！」と、言われました。

「それでも、学校では対応しきれないところがあるはずだ。それを補っていけば、きっとやっていける！」と考えて試行錯誤を続け、何とか落ち着いた形になったのが、一昨年あたりからです。

塾で一番に打ち出していることは、対象を「県立高校を受験する生徒」ということです。（県立高校と言っても、入試で学力以外評価部分が多いと思われる学校は、除いています）これは絶対の原則で、例えば、塾生であっても、私立だけ受験することに決めた場合は、その時点で退塾していただいています。小学生も、中高一貫校や私立を受験する子は、最初からお断りしています。

昨今の社会的経済状況のせいで公立指向が強いのがその理由ですが、そうすることで、授業のレベルと生徒のやる気をある程度以上に保つことができると、考えているからです。

例えば、昨日までは、私の塾でいう「定期テスト期間中（学校の定期テスト1週間前からテスト日まで）」で、ほとんどの生徒が毎日塾に来ます。そういう時には一斉授業ではなく、ひとりひとりが自分の勉強をしています。机は、壁の方を向けたり、窓の方を向けたりで、生徒たちは、お互いに背中を向け合って座っています。学年もバラバラで、私はその中を回りながら、勉強の仕方をアドバイスしたり、質問に答えたりします。

普段は、学年別に授業をします。半分は一斉授業で、一斉授業の前と後は、個別の学習時間になります。

こういうやり方ですから、授業中の雑談などの消極的な学習態度の子が一人でもいれば、全体の雰囲気が壊れます。良い学習環境を保ち、高い効果を上げるために、ごく普通のことではありますが、対象をしぼることを徹底しているというわけです。

私自身に課しているテーマは、「（塾のことは）どんなに大変でも、絶対に一人でやりきること」です。塾があるのは、上に書いたような旧農村で、昨年の口蹄疫やその前の鳥インフルエンザなどで経済的に打撃を受けた地域です。かなり大変な経済状況の中で、お子さんを塾に通わせてくださっている保護者の方も多いはずです。ですから、「安価な費用で、高い結果を！」と、考えました。ですから、授業も面談もその他の雑用も、すべて一人でやっています。

毎日があわただしく、一日のほとんどを塾のことにとられてしまっていますが、「こういう生活も良いかな」と、忙しさを満喫しています。将来、体力や気力が衰え、今のようにできなくなったときには、無理のない規模に縮小していくつもりです。今でも小さな塾ですが、いつまでも生徒たちにかかわっていくのが私の人生かな、と、考えています。

NPO 塾全協東日本ブロック主催
『中高入試を考える会』

報告　鈴木正之

『平成２５年度中高入試の状況と今後の動向』

□ 日時　５月２７日（日）１５：００~１６：５０
□ 場所　中野サンプラザ　7F研修室
□ 講演者　岡山栄一氏（総進図書営業部）、穴澤嘉彦氏（新教育研究協会営業部次長）、小泉壮一郎氏（森上教育研究所所長)、岩佐桂一氏（岩佐教育研究代表）

まず、沼田東日本ブロック理事長、後田多会長の挨拶があり、東京、千葉、埼玉、神奈川の中高の入試についての検証と、平成２５年度の入試の動向についての講演と続いた。なお、塾全協から来年は塾団体合同新年会を止めて、この中高入試を考える会に懇親会を設けるという発表があった。

渉外部報告

私塾ネットセンター広報部長　佐藤勇治

４月５日の百年史発行後、ただちに平成２４（2012）年度私塾・私学・企業教育ネット要覧第12集の編集に取りかかりました。６月１０日完成後会員各位にもお送りしました。ご活用いただければ幸いです。

その後、９月１６日（日）開催の百年史出版祝賀会のご案内の発送、７月１５日（日）のNPO全国教育ボランティアの会「親子の集い」と続き、時間に追われる毎日が続いております。

尚、広報13ｐに掲載の出版祝賀会には、一人でも多くの会員の皆さまにご出席いただきますよう、お願い申し上げます。

私塾ネット アーカイブス

名誉会員　石田　治正
（東京都葛飾区）

名誉会員の石田治正さんから、ご交友のあった日本画家平山郁夫画伯との交流を綴った一文が寄せられました。前号に続き2回目を掲載いたします。

画家平山氏との交流記

（前号から続く）

時は流れ昭和二十年八月六日午前八時十五分広島市内に原爆が投下され　私は県立二中生で爆心地から一・七キロの西観音町二丁目の住宅で　平山君は私立修道中学生で三・五キロの地点で国の指示で材木運搬作業中に被爆し身体異常で帰郷し三原市内の病院で治療を受けたが後遺症で苦悩したそうである。

その後二人は以前より縁深く交際しその代表的なのが昭和二十六年の春　上野の東京美術学校在学中　私は両親の死去により東京都墨田区向島地区の親戚経営の会社に就職していたので　親戚の連絡で喜んで上野公園西郷像前で久しぶりに再会した。彼は大きく成長し以前よりも心を開き現状と人生道を語り合った。その中で彼は「美術学校で学習した内容を一段上に充実させ日本の美術が東洋で注目される作品に集中したい」と語りその大きさに驚〇した。私は現在セルロイド製造販売会社にいるが　地元の商店主から学習指導の依頼され毎晩訪問し中学希望校の合格を目標に努力を重ねているが　人間は何よりも健康の充実が一番だよね」と強調し再会を約し握手して別れた。

昭和四十年の春　日本橋の三越百貨店で彼の個展が開催され早速拝覧していたらそばの管理人から「彼の絵画を生かすには目標の努力性で出身校の教授も注目し絵画活動を支援しているそうですよ」と語ってくれた。

彼の希望の道は「平和と原爆」をテーマで描いた仏像画が多く祈りの旅路は着実に成果を上げた。私もいつも絵画を見ながら全国の仏教の旧跡を題材にした日本画は国民にわかりやすく人気を獲得していった。

平成三年平山氏六十一才で東京芸術大学学長に就任し連絡により学長室から近い応接室で十分程面談した。その時の会話の中に「少年期の頃から家庭環境に感謝し好運の道は自分が目標に向かって努力を重ねる事だが広島県人は楽天的で何事もあきらめが早く心身の不調の人が多いと報道されているが　県人は被爆者の命を無駄にすることなく世界平和に貢献し続けることだ」と語った。

最後に平山氏の人生路をまとめた。

平成　元年　東京芸術大学学長（59才）
〃　五年　文化功労者として顕彰(63才)
〃　八年　日本育英会会長（66才）
〃　九年　瀬戸田町に平山美術館を開館(67才)
〃　十年　文化勲章を受賞(68才)
〃　十六年　シルクロード展(74才)
〃　十九年　祈りの旅路展
〃　二十年　中国美術館（北京）平山芸術展）
〃　二十一年　十二月二日七十九歳で永眠した。

私塾ねっと誌上句会　第十一回

選者　梶原賢治（私塾ネット副理事長）

室外機　夏草刈りて　救い出し
目の前の　白髪の中に　てんと虫
黒あげは　しきりに前の　花めぐり
あげは百合の花が好きだといわれていますが、絵画的・映像的で感動しますね。
中村直人(神奈川県)

夏草や　幸運の店　草笛よ
夏木立　風の松原　浴衣着よ
きらきらと　夜景の眺め　夏の街
今年は、スカイツリーも加わり都内では、新しい風景があちこちで追加されたかと思います。
石田治正(東京都)

万緑の　胎内にあり　奥秩父
水無月の　闇の底から　黄金虫
初鰹　送るの報に　出刃を研ぎ
こんな時間を持ってみたい。お祭りの様ですね。
谷村志厚(千葉県)

八月の　大皿すこし　小さけり
トンネルを　ぬけて銀河の　端を見る
天の川　机上積まれし　参考書
トンネルの句、ヒグッス粒子発見が素材か。さすが十亀さん科学者ですね、スケールが宇宙大だ。（編集部）
十亀幸雄(愛媛県)

雨だれや　同心円に　日も踊り
蛍の灯　危うくもあり　ひたすらに
町一つ　浸しつくすや　蝉時雨
梶原賢治(埼玉県)

編集部からお願い
次号は10月末発行の秋号です。
投句はお一人**4句まで秋の季語**でお願いします。
投稿はメールshikot@aim-net.co.jpまたはFAX047-368-2189
締切は10月20日です。
谷村宛。

学習塾の全てがわかる　『学習塾百年の歴史－塾団体五十年史－』
出版祝賀会・報告会・懇親会

私塾ネット　渉外部長　佐藤勇治

１、日　時：平成24年9月16日(日)／15：00－20：00

２、会　場：東京プリンスホテル（東京タワーそば）
大ホール・プロビデンスホール（858㎡）

３、内　容：第１部　記念式典、主催者・ご来賓挨拶、執筆者・参加者ご紹介
第２部　学習塾・私立学校・企業・ご来賓・有識者、懇親会

４、参加費：10,000円

５、参加者：300名

６、取　材：業界紙の他、当日の内容は、平成25年(2013)『教育ネット要覧』≪第13集≫に、
特集記事と写真(キャプション付き)で詳しく掲載致します。

７、出席者：私塾ネット会員　主な参加者　（7/7土現在）
清水喜与一（北海道）、神野紀子（北海道）、松本紀行（長野）、谷村志厚（千葉）、
嶋田弘尊（東京）、加藤実（東京）木村正史（東京）西畑正夫（神奈川）、佐藤将紀（広島）、
城忠道（広島）片山浄見（富山）、湯口兼司（香川）、その他多数

※また、全国の大手塾、中小塾、学習塾団体、私学、企業、有識者、大学教授等から、
多くの申込を頂いております。
※出版祝賀会は、『百年史』編集長　佐藤の五十数年の【塾人生総決算】の覚悟です。
是非ご出席下さい。

東京プリンスホテル

会計部報告

私塾ネットセンター会計部長　監物一男

会員の皆様には、日頃よりいろいろとご協力いただきありがとうございます。今年度も賛助会員の方々と各エリアのご協力の基、円滑な会計運営ができるよう、宜しくお願い申しあげます。現在、24年度のセンター会費の徴収を行っております。つきましては、各エリアごとに、センター会費を集めさせていただきたいと思います。詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当にお問い合わせください。

エリア代表者
エリア北海道　入江昌憲（札幌進学教室）
エリア東北　渡部信雄（尚志舎）
エリア関東　長江勝秋（英数学院）
エリア中国　佐藤将紀（若竹塾）
エリア四国　寺嶋謙次（学習院セミナー）

又、エリア中部、エリア近畿、エリア九州に於きましては、センター会計部より、個別にご案内をお届けいたしておりますので、ご確認ください。尚、エリア中国及びエリア四国の会費は、既にご入金いただいております。どうもありがとうございました。

賛助会員の方におかれましては、代表者の変更などございましたら、ご連絡のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、詳細やご不明な点は、センター会計部　監物一男（048-688-6903　向学館内）までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】以下の郵便口座までご送金ください。
（口座番号）0230－6－0068820
（口座名義）全日本私塾教育ネットワーク
【銀行振替でご送金の場合】
埼玉りそな銀行　七里支店　普通預金　4413316
（口座名義）私塾ネット　会計部長　監物一男
以上、よろしくお願い申しあげます。

私塾ネット設立10周年大会
上甲晃氏の記念講演に最大の賛辞が寄せられる

記念大会時に実施されたアンケートが集計され、上甲氏の講演が大好評であったことが裏付けられました。以下は簡単な報告です。

＜Q2. 記念講演はいかがでしたか？＞

Q2－1）本日の講演はいかがでしたか？

ア）とても良かった（61人）　イ）まあ良かった（1人）
ウ）どちらとも言えない（0人）　エ）あまり良くなかった（0人）

Q2－2）よかった点はどこですか？

・上甲氏の体験に裏付けられた話は素晴しかった。大変ためになった。（同趣旨16人）・心に残るフレーズを頂けた。・人としての基本を再認識できました。自分が悩んでいた視点に1つの道を見つけたような思いがしました。ありがとうございました。・本気の言葉が伝わってきました。ありがとうございます。・マザーテレサの話。松下幸之助氏は本当にすごいということがわかった。・大変示唆に富み、かつ実践性にあふれる講演でした。明日からの業務に活かしたい。・人生観が変わりました。最後は涙も出そうでした。家族にも聞かせたく、それが残念。・考え方を変える大きなきっかけを得ることができました。・人間の本質を再度見つめる機会を与えていただきました。・素直な心を再認識させてくれたこと。・とても良かった。教育はもちろん、人生とはと考えさせていただきました。・分かりやすかった。　**その他賛辞の山でした。**

閑話休題

編集長　谷村志厚

広報３９号も無事発行にこぎつけた。私塾ネット広報の編集と印刷に関わるようになって８年、３３冊の広報を欠落なく発行できたことに満足である。ところで、前号の５月号は設立１０周年記念特集であったので、編集ネタに不自由はなかった。だが２カ月後の発行になる今号にはこれといった特集記事もなく、苦肉の策としてエリア通信拡大版の体裁をとった。各エリアの広報担当者に無理をお願いし、普段より多めの投稿を募った。その結果エリア通信は、北は青森から南は宮崎まで、日本列島縦断の６ページ特集となった。全国組織私塾ネットの面目躍如といったところである。ご協力いただいた全国の会員の皆さんに多謝◆８，９ページに報告の通り、震災復興支援活動「石巻出前寺子屋」に一区切りをつけた。今後は当方の塾が主管し、小生と家内の責任のもとで活動を継続することになった。活動資金については、全国キリスト教協議会の震災対策室（ＪＥＤＲＯ）が予算をつけてくれることになった。半年前からＪＥＤＲＯに何度か事業計画を出し、事業認定の検討をいただいていた。毎回の活動で発信している石巻レポートを、その都度提出をしておいたのだが、これが高評価をいただき、クリスチャンでも何でもない個人に、震災復興支援資金を提供してくれるというのである。さすがキリスト教団は懐が深いと感心し感謝するばかりである。これでとりあえず現地での活動費用は確保できることになったので、今後最低１年は活動を継続しようと決心している◆先日、事業資金援助のための契約書を交わすためＪＥＤＲＯを訪れた。事務所は早稲田大学文学部キャンパスのそばにある。そこで帰り道に大学本部キャンパスに足を延ばした。正門前、かつて学生会館のあった位置に１６階建ての２６号館が建っている。この１５階に「西北の風」と称するレストランがある。実は７月２１日にここを会場に、大学のサークルのＯＢ会が開催されることになっている。年に一度７０名ばかりの親父中心の集まりだが、そんな機会以外に母校を訪れることもない。１５階の高みから東京の街並みを眺め昼食をとりながら、いまひとつ気になっていることに決着をつけねばと決心をした。実は数日前に、そのＯＢ会の会長を引き受けろとの要請があったのである。21日のＯＢ会までに結論を出さなければならないのだが、「こちらはまだ現役だ」「いそがしい」「先輩に適任者はいる」と逃げ回っていたのだ。しかしながら、ＪＥＤＲＯの縁でＯＢ会の会場となる「西北の風」で昼食をとっている不思議を思えば、これもなにかの巡り合わせだと決心せざるをえなくなったのである。その旨を同席していた家内に告げると「まったくもー…、ご苦労なことで」との反応。自分で自分の首を絞めてますかね。気が弱くて断れないもので…。

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　仲野十和田(ナカジュク)

6/27、来年の全国研修大会の打ち合わせに、研修部長の田中宏道先生と、香川県の湯口理事長を訪ねました。もちろん私は、湯口理事長を私塾ネットの立ち上げ当時からのお付き合いで、その人となりも良く存じ上げておりますが、湯口理事長曰く「全国的には、私は良く知られていない」と。

確かにそうかもしれないと思い、私なりの紹介をさせていただきます。

理事長のお膝元は、讃岐うどんで有名な、香川県は三豊市高瀬町です。丸亀まで行くと瀬戸内海がきれいに眺めることができます。サンセットは最高です。善通寺や金毘羅さんなどの四国８８カ所の要所があり、お遍路さんが行き交っています。教科書通り、ため池が多く、１時間ほどで登れる山も所々にあります。

さて、話を戻しますが、湯口塾は、確実にこの地域の教育レベルを上げて、公私ともに地域で認められる塾として存在していることが、伝わってきます。それは、湯口先生の、あまり損得を気にしないで人付き合いをされる人柄が、大きな要因かも知れません。

「塾の良し悪しは、大きさではない、どれだけ長くきちんとやっているかだ」と、湯口先生はよく言われますが、私は、このメッセージが好きです。まだ、週に４日授業を行っているそうです。酒はもともと飲みませんが、タバコも止め、ウォーキングを始め、スリムになってきた理事長は、ますます元気そうです。「ちょっと悩みが…」「本場でうどんが食べてみたい」「弘法大師に触れてみたい」「マーチンを弾きたい！？」などなど考えている方は、是非、湯口理事長へご一報を。運転手つきで飲み歩けますよ（笑）。いや、きっと親身に相談に乗ってくれます。讃岐うどんを食べながら…。

ということで、来年の全国研修大会は、香川県で行う事でほぼ決定。4/21（日）、空けておいてくださいね。また、**10/28（日）は、丸亀にてエリア四国主催の研修、10/7（日）は、（社）全国学習塾協会主催の「塾の日記念」**が、広島にて行われますが、エリア中国の西本雅明先生（パワーゼミ西本）が中心となって、計画を進めていますので、是非皆さん応援参加をお願いします。**9/2（日）～3（月）は、エリア関東の親睦旅行**があります（静岡県伊東市）。谷村会長お勧めの豪華貸別荘ですので、ご一緒しませんか？当日は、東京駅からマイクロバスを出す予定です。

フォート・ほっとコラム

緑風　＜初夏の青葉を吹く風＞

３年前の６月中旬、緑の風に誘われて長崎にあるハウステンボスへ職員旅行に出かけました。これはそのときの写真です。

以前、ここを訪れたときはチューリップが咲き乱れ、異国情緒にあふれた美しく落ち着ける場所だったので、いつかもう一度来たいと思っていました。

今回訪れてみると園内には来園者がほとんどなく、閑散とした広い園内を我々が独り占めしたようでした。少し寂しい感はありましたが、前回同様静かでゆっくりとした時間を過ごすことができ、日ごろの喧騒を忘れて心のリフレッシュができました。殊に６時ごろの園内散歩はアジサイが露を含み、朝のやさしい光に風景もマッチして心休まる大人の至福の時間を持つことができました。

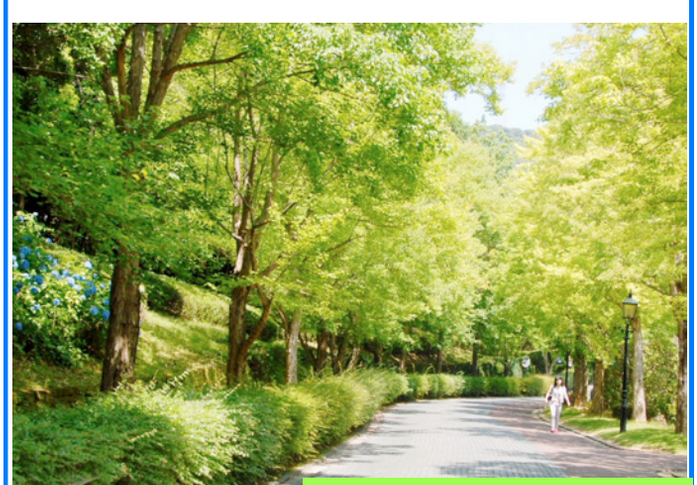
こうした状況はわれわれにとっては好都合でしたけれども、「ハウステンボスの経営は大丈夫だろうか」とつい経営者心が頭をもたげ心配になりました。案の情、一年もたたないうちに経営者が変わったようです。

しかしこれにより経営が様変わりし、いまでは来園者も多く、黒字経営に転じたと聞いています。

やり方次第でニーズにあった運営をすればこんなにも変わるのかと改めて経営のあり方を考えさせられています。

緑の風は木々の成長の息吹です。その息吹を感じながら「今を打開していく道は必ずある」を念頭に明日に向って時代にあった経営を模索し、仕事に邁進していきましょう。

緑風　・・・木々の生長の息吹・・・



緑風 ―初夏の青葉を吹く風―

（文＆写真:城忠道・エリア中国・芸城学院）

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校　村山ｻﾝﾄﾞﾗｰ先生
東京都渋谷区本町3-2-2　TEL03-3376-2244

江戸川学園取手中学高等学校　竹澤　賢司先生
茨城県取手市西1-37-1　TEL0297-74-8771

十文字中学高等学校　夘木　幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33　TEL03-3918-0511

東洋高等学校　丸茂　隆　先生
東京都千代田区三崎町1-4-16　TEL03-3291-3824

桜丘中学高等学校　品田　健　先生
東京都北区滝野川1-51-12　TEL03-3910-6161

聖徳大学附属中高等学校　川並　芳純先生
千葉県松戸市秋山600　TEL047-392-8111

麹町学園女子中高等学校　大野　博人先生
東京都千代田区麹町3-8　TEL03-3263-3014

春日部共栄中学　宇野　禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213　TEL048-737-7611

大成高等学校　岡田　政雄先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5　TEL0422-43-3196

東京学園高等学校　須藤　勉　先生
東京都目黒区下目黒6-12-25　TEL03-3711-6641

東京立正中学高等学校　藤井　教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15　TEL03-3312-1111

八雲学園中学高等学校　横山　孝治先生
東京都目黒区八雲　2-14-1　TEL03-3717-1196

関東第一高等学校　副田　康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11　TEL03-3653-1541

武蔵野中学高等学校　楠木　文史先生
東京都北区西ヶ原4-56-20　TEL03-3910-0151

和洋国府台女子中学高等学校　西山　紀子先生
千葉県市川市国分4-20-1　TEL047-371-1120

新渡戸文化中学高等学校　小嶋　輝夫先生
東京都中野区本町6-38-1　TEL03-3381-0196

文京学院大学女子中学高等学校　嶋田　栄司先生
東京都文京区本駒込6-18-3　TEL03-3946-5301

東洋大学付属京北学園　野中　政廣先生
東京都北区赤羽台1-7-12　TEL03-3941-6253

大森学園高等学校　矢部　一紀先生
東京都大田区大森3-2-12　TEL03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校　増澤　文徳先生
東京都北区豊島8-26-9　TEL03-3911-2786

日本工業大学駒場中学高等学校　河村　文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32　TEL03-3467-2130

青稜中学高等学校　笠松　芳幸先生
東京都品川区二葉1-6-6　TEL03-3782-1502

東京女子学園　実吉　幹夫先生
東京都港区芝4-1-30　TEL03-3451-6523

駒込中学高等学校　河合　孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25　TEL03-3828-4141

愛国中学高等学校　高橋　英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1　TEL03-3658-4111

日本橋女学館中学高等学校　園田　義宣先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6　TEL03-3662-2507

安田学園中学高等学校　福谷　隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25　TEL03-3624-2666

科学技術学園高等学校　船津　和良先生
東京都世田谷区成城1-11-1　TEL03-5494-7711

日本音楽高等学校　伊庭　崇　先生
東京都品川区豊町2-16-12　TEL03-3786-1711

立正中学高等学校　今田　正利先生
東京都品川区大崎4-2-16　TEL03-3492-4416

上野学園中学高等学校　高橋公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12　TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校　舘野　宏　先生
東京都千代田区九段南2-1-32　TEL03-3261-9288

村田女子高等学校

村田学園小石川女子中学校　小林　隆司先生
東京都文京区本駒込2-29-1　TEL03-5940-4187

自由学園（中等部・高等部）　更科　幸一先生
東京都東久留米市学園町1-8-15　TEL042-422-3111

帝京中学高等学校　大谷　幸男先生
東京都板橋区稲荷台27-1　TEL03-3963-4711

京華学園　今野　巌　先生
東京都文京区白山5-6-6　TEL03-3941-6493

千代田女学園　長尾　和雄先生
東京都千代田区四番町11　TEL03-3263-6551

日出中学高等学校　大江　律夫先生
東京都目黒区目黒1-6-15　TEL03-3492-3388

目黒学院中学高等学校　阿部　幸彦先生
東京都目黒区中目黒1-1-50　TEL03-3711-6556

共栄学園中学高等学校　松宮　博　先生
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1　TEL03-3601-7136

東京家政学院中学・高等学校　滝沢　保一先生
東京都千代田区三番町22　TEL03-5245-6534

東京女子学院中学・高等学校　宗内　信二先生
東京都練馬区関町北4-16-11　TEL03-5903-9559

㈱創開コミュニティー　小林　和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202　TEL04-7164-6511

ドラゴンフィールド㈱　和田　功　様
千代田区神田錦町3-23錦町ビル8　TEL03-5282-3174

㈱パワーコンサル　大島　義則様
渋谷区渋谷1-7-7 青山通りビル12Ｆ　TEL03-5928-1686

㈱私塾界　山田未知之様
豊島区東池袋1-39-1三善ビル　TEL03-3987-0838

㈱ＳＲＪ　板橋　玲　様
港区芝公園2-4-1柴パークB館102　TEL03-5425-6534

デザインオフィススズキ　鈴木　学　様
千葉県柏市柏687-6　TEL04-7164-8276

（株）ぱど　田中　和博様
東京都港区三田3-5-27　TEL03-5155-8122

（株）エドペック　千葉　貴広様
横浜市中区山下町25-15 ﾌｭｰﾁｬｰ山下　TEL045-226-5494

（株）学研ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙ　伊藤　龍男様
品川区西五反田2-11-8　9F　TEL03-6431-1337

Halten.LLC　飯田　洋一様
千代田区二番町1-2 番町ﾊｲﾑ434　TEL03-6261-0158